

「夢空間」車両について

◆ 車両の概要

(※参考:「鉄道ファン」誌、「鉄道ピクトリアル」誌、夢空間に関するブログ、ホームページ等より一部引用)

「夢空間」は、国鉄がＪＲになって新造された 24 系の客車である。

1 号車の食堂車「ダイニングカー」2 号車のラウンジカー「クリスタルラウンジ・スプレモ」、3 号車の寝台車「デラックススリーパー」の 3 両 1 組で構成され、それぞれ緑、赤、青を基調とした鮮やかな外観をしている。

1989 年の「横浜博覧会」開催時、桜木町駅前において、はじめて公開・展示され、1991 年には「北斗星トマムスキー」号として一般営業を開始、予約が困難ほどの人気を誇ったが、残念ながら製造後 20 年程経った 2008 年 3 月に老朽化を理由に営業運転を終了した。その後、ラウンジカーとダイニングカーは 2009 年 6 月、デラックススリーパーは 2011 年 12 月でそれぞれ廃車となった。

現在、ラウンジカーとダイニングカーは、2009 年 9 月より埼玉県三郷市の「ららぽーと新三郷」に展示されている。現在、ラウンジカーのみ内部を見学できる。デラックススリーパーは 2011 年 12 月に江東区木場にあるレストラン「アタゴール」に移設されており、車内ではお茶を飲むこともできる。

「夢空間」車両は、後に豪華寝台列車として開発・製造された「カシオペア」や「TRAIN SUITE 四季島」などへ多大な影響を与えている。

◆ 車両の説明

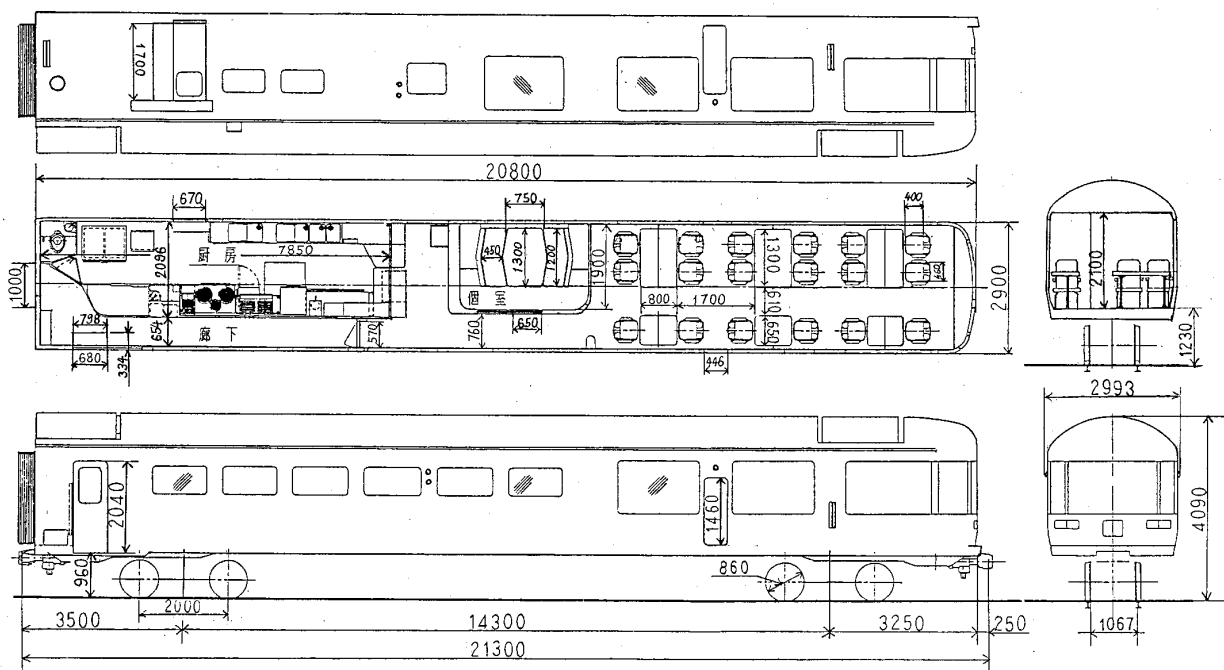
①「ダイニングカー」オシ 25 901

製造を東急車両、内装デザインを東急百貨店が担当した。大きな展望窓が特徴で、中央部に 4 人用個室を設けている。編成最後尾にダイニングルームを配置していることから、関係ない人の通り抜けがなく、ゆったりとした空間の中で食事ができた。

②「ラウンジカー」オハフ 25 901

製造を富士重工業、内装デザインを松屋百貨店が担当した。豪華な装飾、電動ピアノによる音楽が流れるなど、贅沢な時を演出した「クリスタルラウンジ・スプレモ」は、中央に配置されたバーカウンター、ゆったりとしたソファなど「オリエントエクスプレス」を彷彿させる。

A photograph of a green Shinkansen train, likely a Tokaido Shinkansen, stopped at a station platform. The train is sleek and aerodynamic, with a large front window and a green body with yellow and red stripes. The platform is visible on the right, and the tracks are on the left.



「ラウンジカー」 オハフ 25 901

